

日 時：平成25年10月23日(水) 14:00~17:00			会 場：地盤工学会地階A会議室		
委員長 橋 伸也	○	幹事長 楡井 一昭	○	理事・委員 富田 陽子	×
幹 事 杉本 映湖	○	幹 事 渡邊 康司	○	委員(前幹事) 仲山 貴司	×
委 員 福村 一成	×	委 員 中井 宏	×	委 員 森口 周二	○
委 員 小川 和也	×	委 員 森 淳子	○	委 員 梶取 真一	○
委 員 金澤 伸一	×	委 員 川久保 昌平	×	委 員 持田 文弘	×
ワザハバー 李 圭太	×	ワザハバー 清木 隆文	○	ワザハバー 川井 康右	×
ワザハバー 荒瀬 義則	×			事務局 内藤 千愛	○

## 《報告・確認事項》

## 1. 議事録担当者……(別紙-1)

- 楡井幹事長が担当することになった。

## 2. 前回議事録(8/21)の確認……(別紙-2)

- 橋委員長より説明があった。議事録の内容について承認された。

## 3. 理事会(8/20・9/27)報告……(別紙-3)

- 岸田隆夫専務理事が、平成25年9月より広島工業大学の教授職を得たため、今年度の残りの期間は、非常勤の専務理事となる役職変更の件が了承された。(8/20)

- 既刊本(地盤工学入門、土の締固め、液状化対策工法)の増刷が提案どおりの部数で承認された。

## 4. 公益出版部(出版)関係収支報告……(別紙-4)(添付資料-1)

- 単行本販売収支9月末の半期で予算の32%である。

- 単行本の販売部数は、基準部の出版物より多いが単価が低いため売り上げは基準部より劣る。

- 公益出版部事業売上推移の図は、今回から各月のイベントを追記し、わかり易くなった。

- 東日本大震災以降、液状化に関する図書は、毎年売上がある。

## 5. 各編集委員会および出版作業進捗状況……(別紙-5の1~2)

- 「河川構造物の調査・設計から施工まで」については、作業が進捗していない。来年度の予算取りがあるため、橋委員長から、小高委員長、李幹事長に個別に進捗状況、発刊予定についてヒアリングする。

- 「落石対策工の設計法と設計例」については、11月29日に編集委員会を開催予定であり、この時点で原稿の7割程度できる予定である。予定どおり、今年度出版見込みである。

- 「現場における地盤調査の基本」については、平成26年2月末出版の予定である。

- 「杭基礎のトラブルとその対策」については、10月25日編集委員会開催を予定している。作業は順調に推移している。本のサイズは、B5サイズで、トラブルシリーズで発刊することで承認した。

- 「新しい設計法に対応した土と基礎の設計計算演習」については、8月末最終原稿の締切りであったが、2名ほど未定提出者があり、遅れている。図のトレースは、完了済みである。

- 「地盤に関する解析技術」については、地盤工学会が発刊できるかどうか10月29日の土木学会の編集委員会で結論がでる。今後は、それを待って出版企画委員会としての対応を考える。

- 新企画「地盤のはなし」、「子供向けの本」は、進展なし。

- 「地盤のはなし」については、広報委員会からの提案事項であるため、広報委員長に出版する意思があるかどうか、渡邊幹事が確認する。

## 6. 販促チラシの作成について……(別紙-6)

- 地盤品質判定土試験に関連した図書(6冊)の販売促進方法について、杉本幹事から提案があった。

- 渡邊幹事から地盤工学会誌11月、12月合併号において1ページ分の紙面が広告用に使用できるので、ここへの掲載が効果的であるとの意見があった。

- その結果、掲載することとし杉本幹事が、記載内容の枠組みを作る。記載内容は、図書の推薦、図書の表紙と概

要、図書の申し込み書とする。図書の推薦については、地盤品質判定試験協議会（岸田専務理事）にお願いする。  
また、基準部の出版物については、掲載する旨を杉本幹事が基準部へ連絡し、承諾を得る。

・渡邊幹事は、原稿締切り期限を杉本幹事に連絡する。

## 7. その他

### (1) 技術普及委員会(10/4)報告……(別紙-7) (添付資料-2)

- ・渡邊幹事より技術普及委員会があり、内容は確認された。
- ・イサボウネットに掲載する図書の更新は可能であるため、更新が必要な場合は、杉本幹事が渡邊幹事に連絡する。

### (2) 出版アンケート集計結果……(別紙-8)

- ・メールによる書籍の発刊希望アンケートについて6人から回答があった。
- ・出版企画グループでは、Mr. アンケート等のソフトを使用し、匿名でアンケート回収できる方法を検討すること
- ・アンケートが統計処理できる数が集まった段階で、アンケート結果の分析を行い、今後の出版物の企画に利用する。

## 《審議事項》

### 1. 翻訳本合意書について……(別紙-9の1~2)

- ・「地盤工学・実務シリーズ24 山岳トンネル工法の調査・設計から施工まで」についての翻訳出版に関する合意書は理事会で承認され、後は、歐美書簡の合意書の返却を待つのみである。
- ・「シールド工法」の翻訳出版許諾申請書に対する翻訳出版に関する合意書（案）第3条 著作権使用料の支払いについては、仲介会社のBESTUN KOREA AGENCYに事務局から確認すること

### 2. 電子出版について……(別紙-10)

- ・9月20日の公益出版部会で、出版企画委員会から学会出版物の電子書籍化に向けた検討結果を説明した。
- ・特に、著作権、転載許諾の課題があることを説明した。
- ・それに対して、部会の意見として、学会出版物の電子書籍化も重要であるが、電子出版を画一的に考えるのではなく、短期で出版可能な形態と多くの準備を要する形態に分け、電子化を利用した会員サービスの増強案等についての自由なアイデアを出して欲しいとの意見があった。
- ・この意見を踏まえて、橋委員長から出版企画委員会メンバーにアイデア募集の依頼を行うことを決定した。

### 3. 過去の見直し評価結果について……(別紙-11)

- ・既刊本の見直しについてこれまでの見直しを整理しものについて渡邊幹事から説明があった。
- ・今後、優先順位を付け、26年度予算を鑑みて何冊改訂するか提案する。

### 4. 26年度予算案について……(添付資料-3)

- ・26年度予算計画の作成については、実態に則した予算を計上するよう総務部から指導があった。
- ・指導に基づき26年度一次予算を作成し、その結果の説明が事務局からあった。費用は提案のどおりとする。
- ・但し、科目の内、編集準備活動費の使用は、編集委員会の移行準備の新企画のテーマとする。  
編集委員会費 ③、⑦はこの項目から除く、①、⑧は、編集委員長に発刊時期を確認し予算に盛り込むかどうか決定する。それを受け、改訂版の発行件数を決定する。

### 5. その他

- ・特になし。

【次回委員会開催予定日：平成25年 12月 17日（火） 地盤工学会 3階 大会議室】